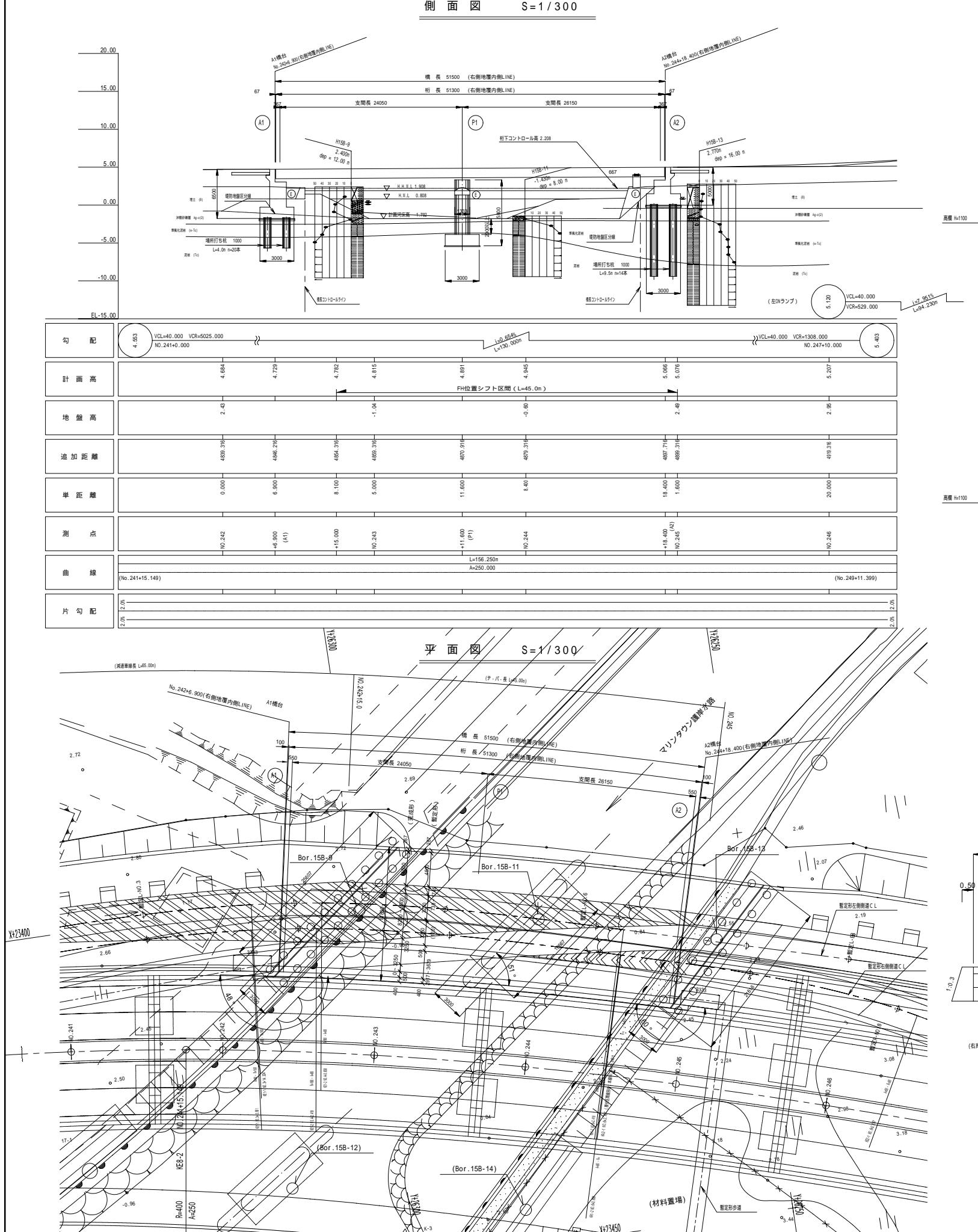
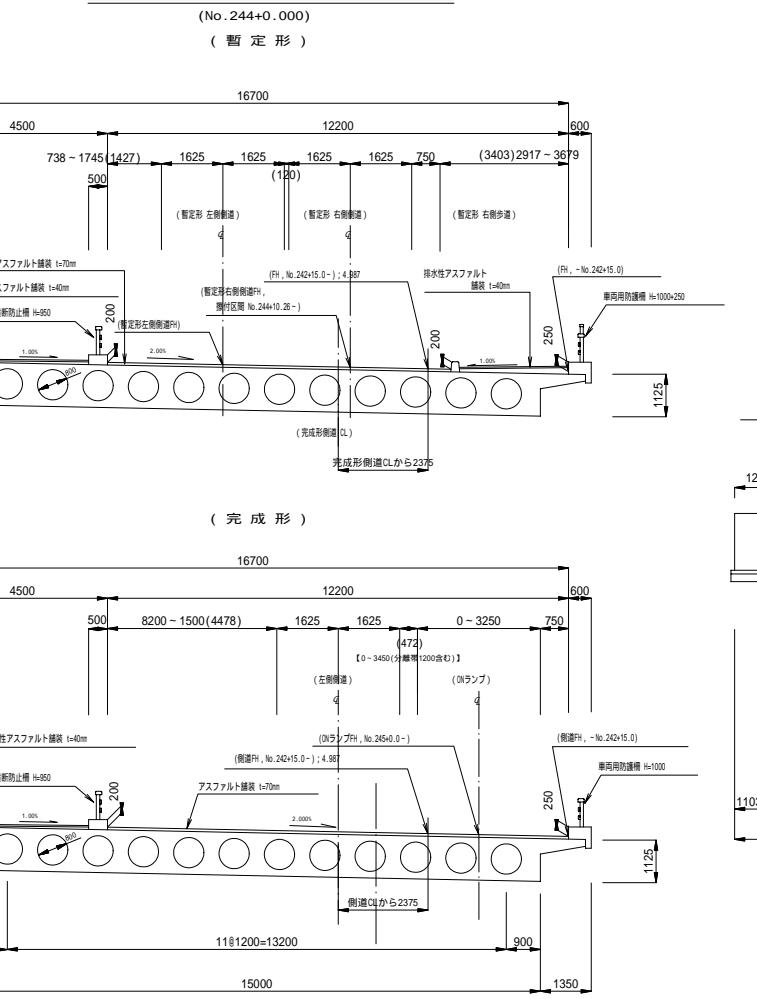


図 - 1-1. 位置図

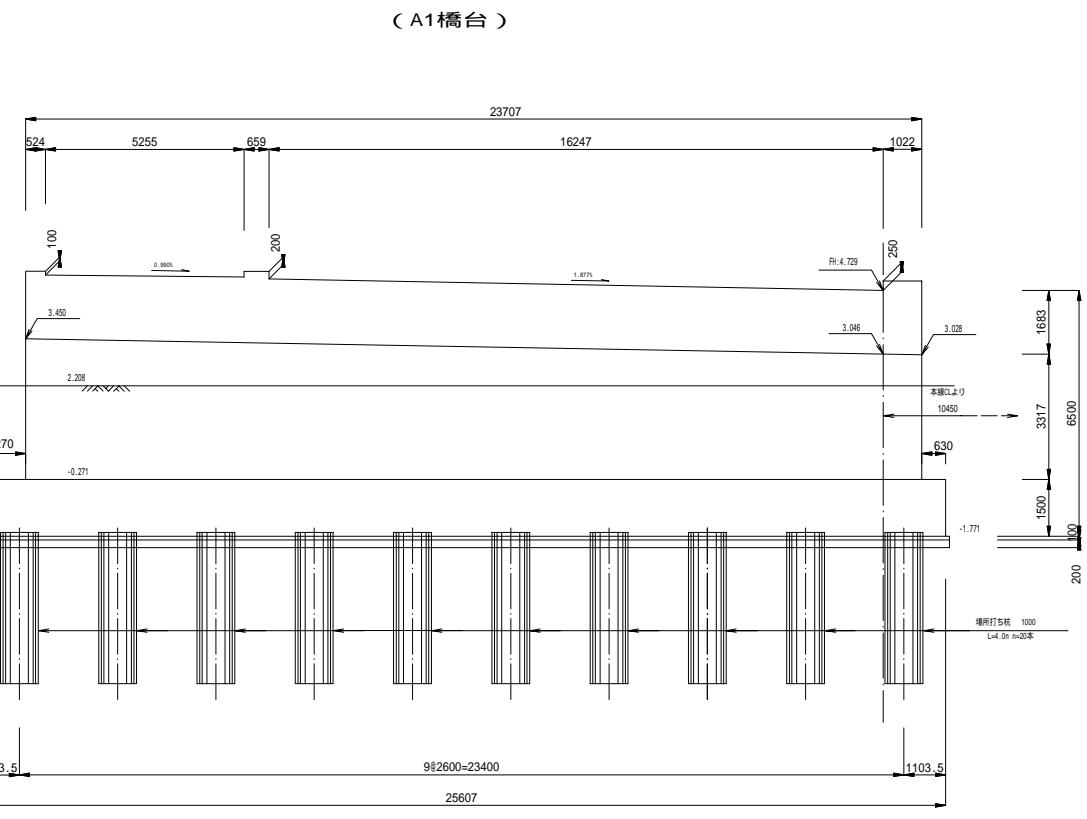
側道1号橋 橋梁一般図



標準断面図 S=1/100



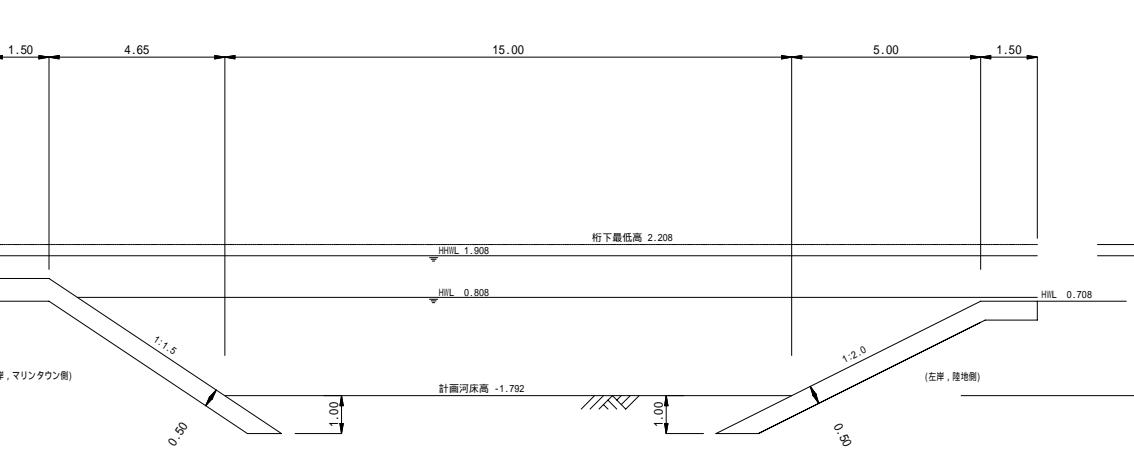
下部工正面図 S=1/100



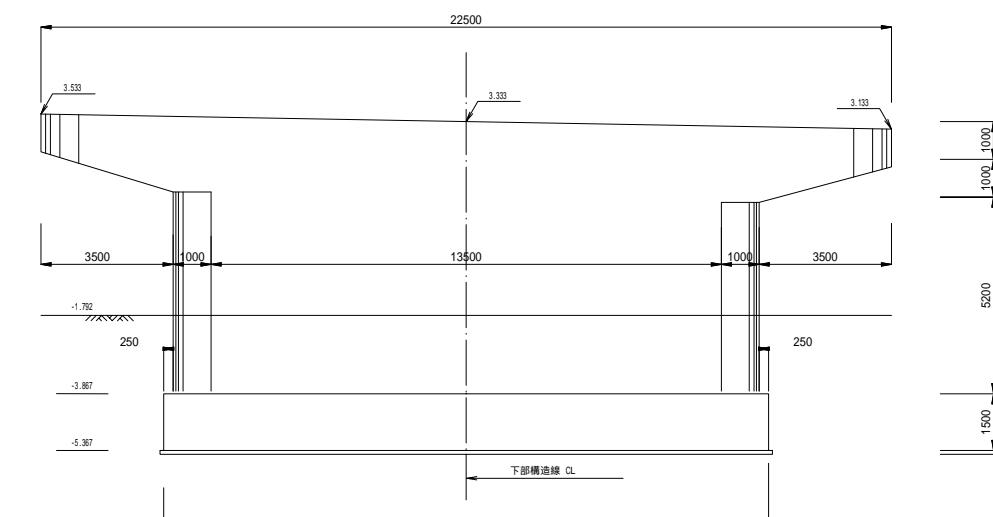
設計条件

道路規格	第4種第1級(設計速度V=40km/h)
設計荷重	車道: 6t活荷重、歩道: 群衆荷重
橋長	51.500m(右側地盤内側LINE)
桁長	24.050m+26.150m(右側地盤内側LINE)
有効幅員(完成形)	16.7m(歩道4.5m+路面5.5m+中央分離帯5.5m)
斜傾角	A1: 地24°, P1: 左51°, A2: 左60°
平面線形	右250m
緩勾配	上り0.654% (ONランプ 7.951%, No.244+0.0~)
横断勾配	歩道0.5% (ONランプ 1.0%, 基本勾配: 2.0%)
形式	P1付近連続式空疎版
コンクリート	ck = 38N/mm ²
鉄筋	S225A
P C鋼材	S10PFBN
下部工形式	逆T型橋台2基、張出式機脚1基
基礎工形式	A1-A2: 埋立打替 1000, P1: 直接基礎
コンクリート	ck = 24N/mm ²
鉄筋	S304S
地盤区分	C地盤
地盤種別	1種地盤
堤防対策区分	A-S区分
設計震度	道路示方書・同解説(平成14年3月) 土木工事設計要領(平成14年4月)

マリンタウン護岸水路 標準断面図 S=1/100



(P1橋脚)

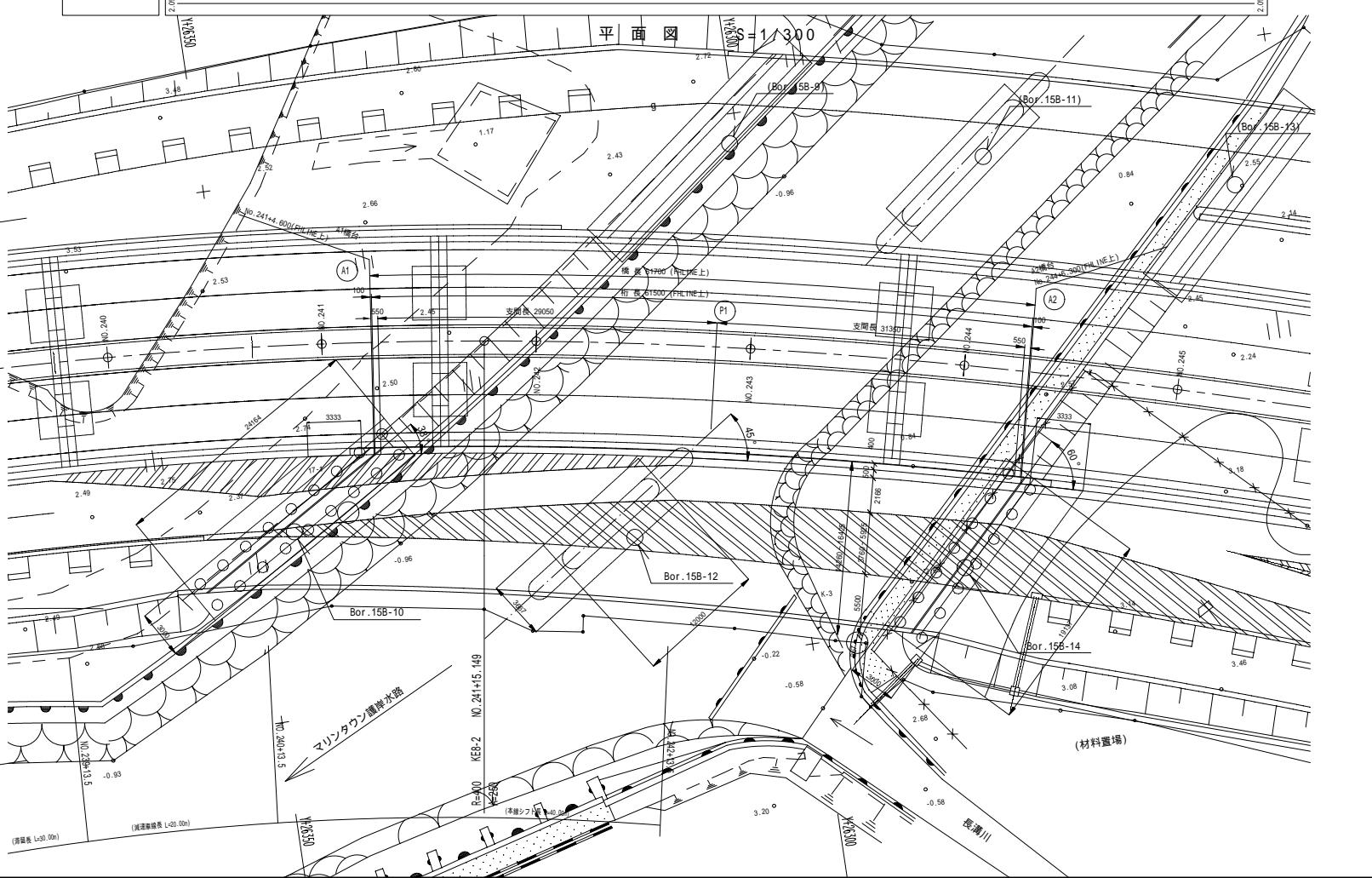
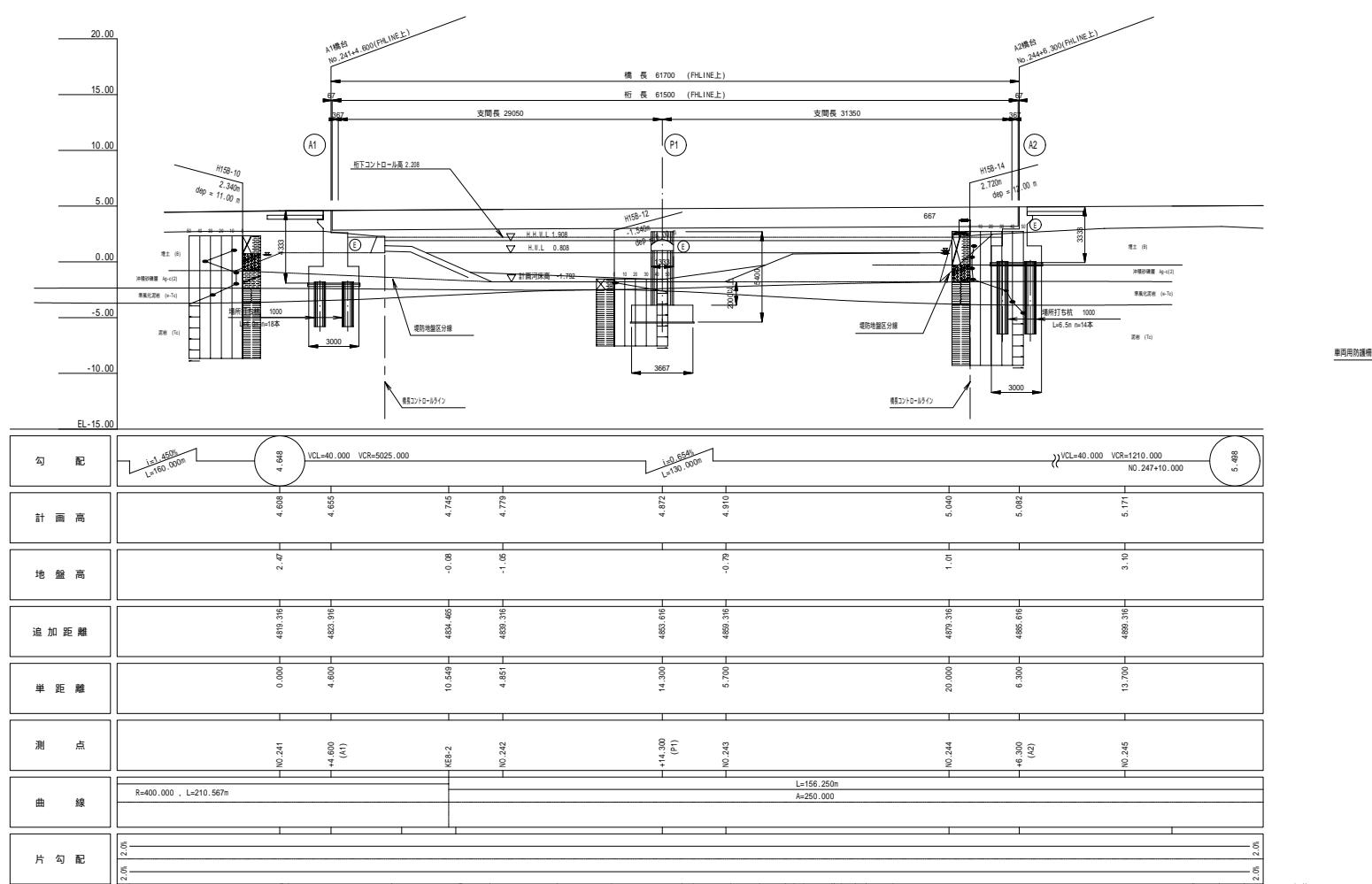


注) 橋梁一般図に示す橋長・桁長・支間長は、本線CLでの測点読みである。
それぞれの実長は線形図及び上部工構造一般図を参照のこと。

工事名	与那原バイパス(西原地区)側道 1号橋、2号橋詳細設計業務
工事地名 (箇所)	西原町字磨鹿地内
面積種類	側道1号橋 橋梁一般図
縮尺	図示 図面番号 185の 2
施工年度	平成 年 月
事務所名	沖縄総合事務局南部国道事務所

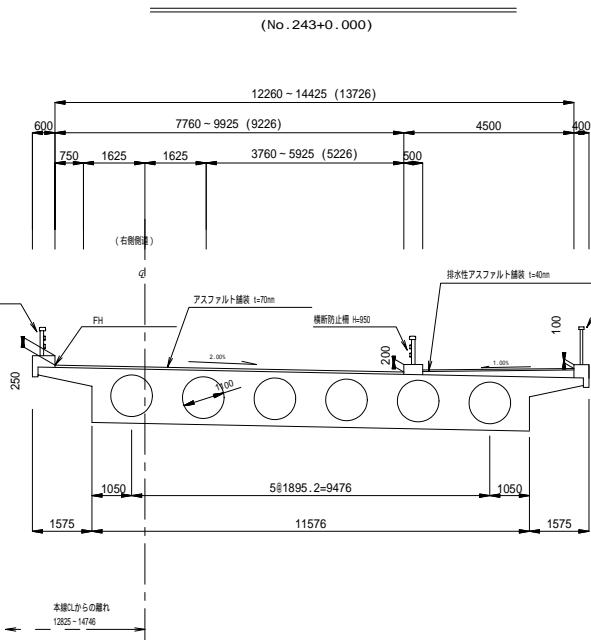
側道2号橋 橋梁一般図

側面図 S=1/300

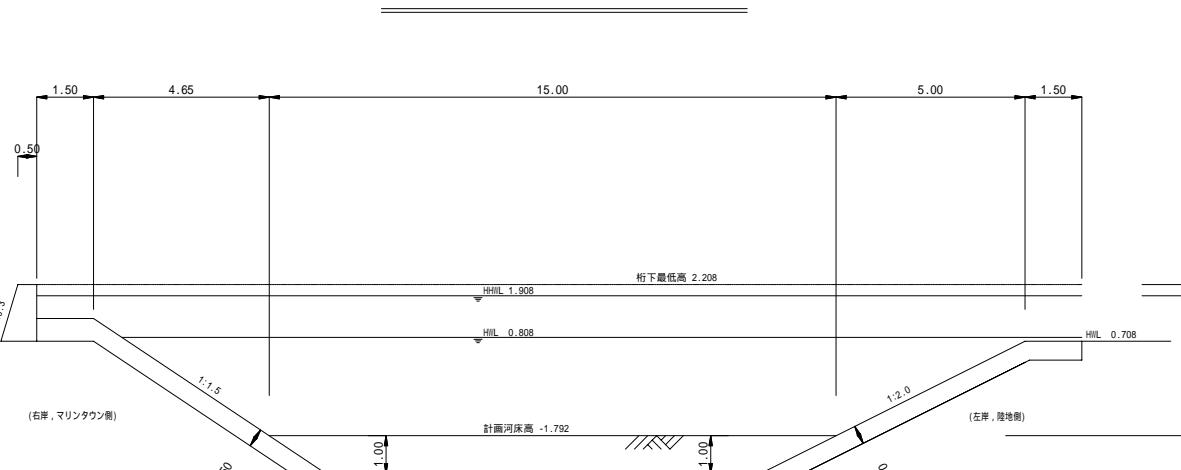


標準断面図 S=1/100

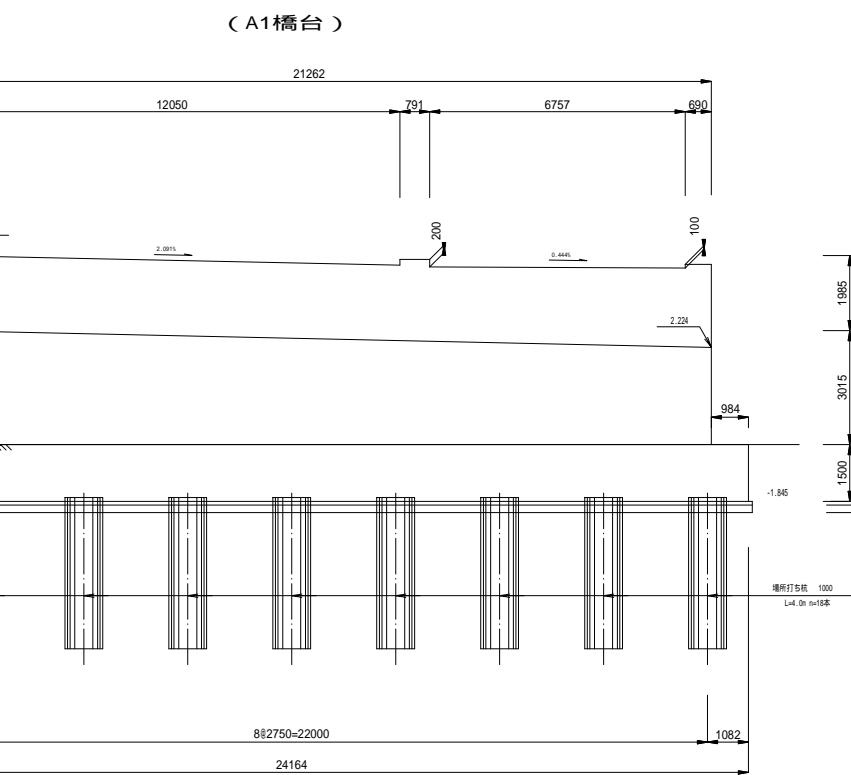
(No. 243+0.000)



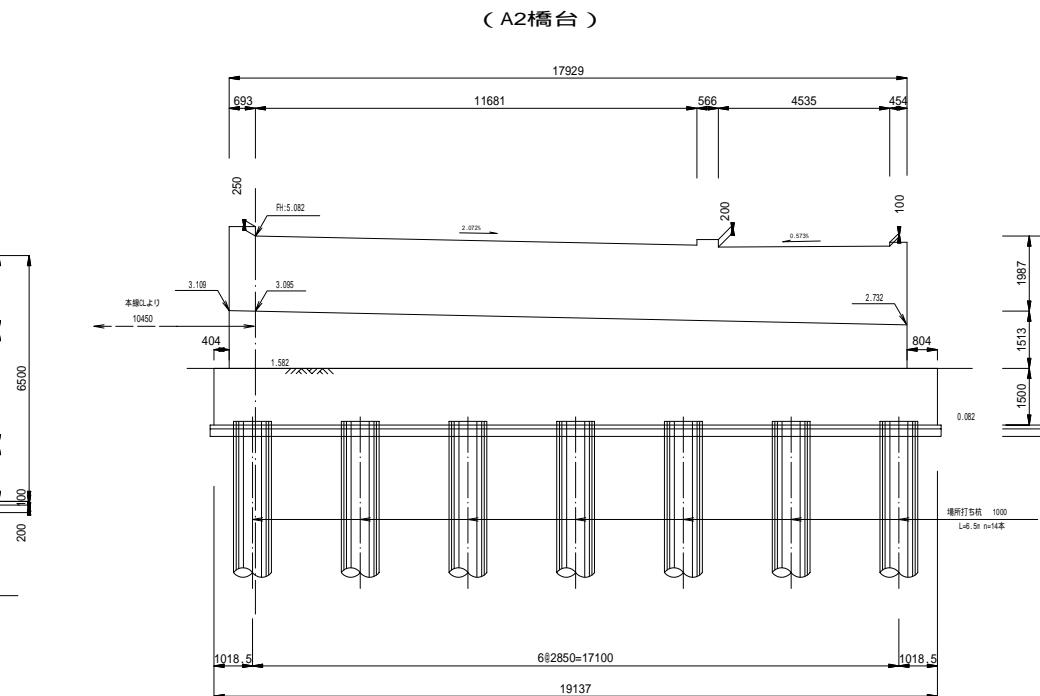
マリンタウン護岸水路 標準断面図 S=1/100



下部工正面図 S=1/100



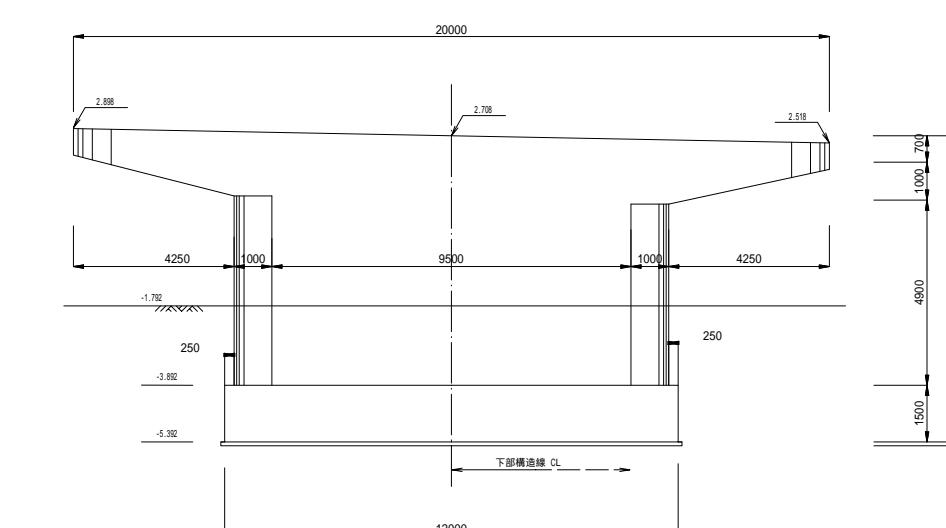
(A1橋台)



(A2橋台)

設計条件	
道路規格	第4種第1級(設計速度V=40km/h)
設計荷重	車道・歩行者、歩道・群衆荷重
橋長	61.700m(FH LINE上)
桁長	61.500m(FH LINE上)
支間長	29.050m・31.350m(FH LINE上)
有効幅員	12.28-14.43m(側道:7.7-9.5m・歩道4.5)
斜角	A1:左33°, P1:左45°, A2:左60°
平面線形	右:A=400m・右A+250m
横断勾配	上:0.45%・上D:0.65%
横断勾配	車道右勾配:2.0%、歩道片勾配:1.0%
形式	P1往開統合空腹版
コンクリート	ck = 38N/mm ²
鉄筋	S295A
P C 鋼材	S195FB
下部工形式	逆T型橋台2基、張出式橋脚1基
基礎工形式	A1-A2:場所打植 1000, P1:直接基礎
コンクリート	ck = 24N/mm ²
鉄筋	S345
地盤区分	C地盤
地盤種別	1種地盤
堤防対策区分	A-S区分
設計震度	構造物 kh = 0.14, 土砂 kh = 0.11
適用示方書	道路示方書・同解説(平成14年3月) 土木工事設計要領(平成14年4月)

(P1橋脚)



工事名	与那原バイパス(西原地区)側道 1号橋、2号橋詳細設計業務
工事地名 (箇所)	西原町字我謝内
面積種類	側道2号橋 橋梁一般図
縮尺	図示 図面番号 185の99
施工年度	平成 年 月
事務所名	沖縄総合事務局南部国道事務所

注) 橋梁一般図に示す橋長・桁長・支間長は、本線C.L.での測点読みである。それぞれの実長は線形図及び上部工構造一般図を参照のこと。